

人間関係

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・岡田実

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：15

■ 授業概要

対人コミュニケーションの授業で得たコミュニケーション能力を基礎に、医療現場におけるコミュニケーション・スキルを学ばせながら、自己及び他者の理解を深めさせ、相手に関心を持ち、他者とのコミュニケーションをはかる基本的知識・技術・態度を教授する。学生生活における他者との関係づくり及び臨地実習における対象との援助関係づくりの基盤とする。

■ 到達目標

1. 医療現場で展開されているクライアントと医療専門職者との援助関係の実際を理解できる。
2. 医療現場の各所で展開されている相互作用の特徴を理解できる。
3. クライアントと看護職者との間に生じている相互関係を理解できる。
4. 臨地実習に求められる援助関係を築く力を考察できるようになる。

■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解

■ キーワード

人間関係、コミュニケーション、医療現場、多職種連携、関係構築を通じた支援

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	医療現場における対人相互作用	医療現場では対人相互作用を通じて治療と看護が提供されている・講義	岡田
2	① 救命救急の現場における相互作用	ERの現場で展開される各種の相互作用	岡田
3		映像で展開されている臨床現場の考察①・演習とレポート作成	岡田
4	② 産婦人科医とハイリスク出産を前にした褥婦・家族との相互作用	ハイリスク出産から褥婦と申請時2つの命を守る産婦人科医の褥婦・家族との相互作用・講義	岡田
5		映像で展開されている臨床現場の考察② 演習とレポート作成	岡田
6	③ 在宅ホスピス医とクライアントの相互作用	緩和ケアの現場に見られるクライアントと家族との相互作用・講義	岡田
7		映像で展開されている臨床現場の考察③ 演習とレポート作成	岡田
8	④ 医療安全対策専従医及び患者との相互作用	医療機関における安全対策専門医と他の医療スタッフ及び患者・家族との相互作用・講義	岡田
9		映像で展開されている臨床現場の考察④・演習とレポート作成	岡田
10	⑤ リハビリテーションとクライアントとの相互作用	リハビリ医療の現場で繰り広げられる専門職者とクライアントとの相互作用・講義	岡田
11		映像で展開されている臨床現場の考察⑤ 演習とレポート作成	岡田
12	⑥ 義肢装具士とクライアントとの相互作用	義肢装具士を訪問するクライアントの生活及びその家族との相互作用・講義	岡田
13		映像で展開されている臨床現場の考察⑥ 演習とレポート作成	岡田

14	⑦小児外科医と患児及び家族との相互作用	困難な手術を担当する小児外科医とそのチーム及び患者・家族との相互作用・講義	岡田
		映像で展開されている臨床現場の考察⑦・演習とレポート作成	岡田
15	医療現場で展開されている対人相互作用のまとめ	医療職に総合的に求められる人間関係力やチーム力に関する考察・講義	岡田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

授業中のプレゼン内容 30%、レポート 7 回分 70%、合計 100 点

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・ 課題レポートの評点は Google Classroom からフィードバックします。
- ・ 課題レポートの評価点に関する詳細は、希望者に対して個別にフィードバックしますので、研究室を訪問してください。
- ・ なお、要望があればレポートを添削します。「乞う添削」とレポートの最後に書き入れてください。

■ 教科書

図書館にある医療現場におけるコミュニケーション・スキルや対人関係、援助関係に関連した図書。

■ 参考書・参考資料等

- ・ 『NHK プロフェッショナル 仕事の流儀』NHK 出版 のシリーズ など。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

限られた時間内で所定のレポートを作成の上、Google classroom を通じて締切期限内に提出してください。

■ 担当教員からのメッセージ

私たちは一般的な人間関係に生きるわけではありません。医療専門職は患者やクライアントとの一定の契約関係に基づき、職能それぞれが有している倫理基準にしたがって、対人関係を成立させ、この関係を活用してサービスを提供しています。契約関係や倫理基準、組織内での立場を踏まえ、援助関係に基づいた支援という観点が曖昧になると、各種の人間関係上の問題を抱えてしまいます。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 18、mokada★iwate-uhms.ac.jp、Tel 019-601-8571、オフィスアワーは特に定めませんが、事前にメールで日程調整のうえ研究室を訪問してください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

医療機関での看護師業務の経験を活かし、精神看護学に関連する専門的で実践的な講義と演習を行います。